

水酸化亜鉛,米山薬品工業株,CC0006,2023年1月20日

安全データシート

改訂日：2023年1月20日

1. 化学品及び会社情報		
化学品の名称(製品名)	水酸化亜鉛	
会社名	米山薬品工業株式会社	
住所	大阪市中央区道修町2丁目3番11号	
電話番号	(06)6231-3555(大阪・本社)	
	(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)	
	(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)	
整理番号	CC0006	
2. 危険有害性の要約		
GHS分類		全ての項目において「区分外」、「分類対象外」または「分類できない」。
3. 組成、成分情報		
化学物質・混合物の区別	化学物質	
化学名又は一般名	水酸化亜鉛	
別名	—	
化学式	Zn(OH) ₂	
化学物質を特定できる一般的な番号	CAS RN: 20427-58-1	
濃度又は濃度範囲(含有率)	97%以上	
官報公示整理番号(化審法/安衛法)	(1)-433	
4. 応急措置		
吸入した場合		空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合		直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。 皮膚を流水、シャワーで洗うこと。 目の刺激が続く場合: 医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合		水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 医師に連絡すること。
飲み込んだ場合		口をすすぐこと。 医師に連絡すること。
5. 火災時の措置		
適切な消火剤		周辺火災に適した消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤		該当情報なし。
特有の危険有害性		加熱により容器が爆発するおそれがある。 火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法		危険でなければ火災区域から容器を移動する。 関係者以外は安全な場所に退去させる。
消火を行う者の保護		適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
6. 漏出時の措置		
人体に対する注意事項、保護具および緊急措置		適切な保護具を着用する。 関係者以外の立入りを禁止する。 密閉された場所に立入る前に換気する。
環境に対する注意事項		環境中に放出してはならない。
封じ込め及び浄化方法・機材		回収・中和: 不活性材料(例えば、乾燥砂又は土等)で流出物を吸収して、 化学品廃棄容器に入れる。 漏出物を回収する。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
7. 取扱い及び保管上の注意		
取扱い		
技術的対策		『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
安全取扱い注意事項		局所排気・全体換気: 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、 全体換気を行う。 熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。—禁煙。 取扱い後はよく手を洗うこと。 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

接触回避	ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
衛生対策	皮膚と接触しないこと。
保管	眼に入れないこと。
安全な保管条件	『10. 安定性及び反応性』を参照。
	取扱い後はよく手を洗うこと。
	技術的対策: 消防法の規制に従う。
	保管条件: 容器を密閉して冷乾所にて保存すること。
	熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から離して保管すること。一禁煙。
容器包装材料	ポリエチレン
8. 暴露防止及び保護措置	
許容濃度	未設定
管理濃度	未設定
日本産業衛生学会	未設定
ACGIH	未設定
設備対策	この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
	ばく露を防止するため、装置の密閉化又は局所排気装置を設置すること。
保護具	
呼吸器の保護具	適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具	適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具	適切な眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用すること。
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態	固体
色	白色
臭い	無臭
融点・凝固点	134°C
沸点又は初留点及び沸騰範囲	該当情報なし。
燃焼性（固体、気体）	該当情報なし。
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	該当情報なし。
引火点	該当情報なし。
自然発火温度	該当情報なし。
分解温度	該当情報なし。
pH	該当情報なし。
粘度（粘性率）	該当情報なし。
溶解度	648mg/L (22°C, 水)
	水に不溶。エタノールにほとんど溶けない。
n-オクタノール/水分分配係数	該当情報なし。
蒸気圧	該当情報なし。
密度及び/又は相対密度	3.11g/cm ³ (22°C)
相対ガス密度	該当情報なし。
10. 安定性及び反応性	
反応性、化学的安定性	法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる。
危険有害反応可能性	該当情報なし。
避けるべき条件	該当情報なし。
混触危険物質	該当情報なし。
危険有害な分解生成物	該当情報なし。
11. 有害性情報	
急性毒性	経口: 亜鉛または亜鉛化合物による急性経口毒性として、吐き気、嘔吐、腹痛、けいれんなどの胃腸症状、および下痢などが報告されている。
	経皮: 該当情報なし。
	吸入: 該当情報なし。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	難溶性の亜鉛化合物について、皮膚刺激及び眼刺激の報告は確認されていない。しかし難溶性化合物の亜鉛から放出された水酸化物イオンによって、皮膚刺激性及び眼刺激性の可能性はある。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	難溶性の亜鉛化合物について、皮膚刺激及び眼刺激の報告は確認されていない。しかし難溶性化合物の亜鉛から放出された水酸化物イオンによって、皮膚刺激性及び眼刺激性の可能性はある。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器: 該当情報なし。
	皮膚: 該当情報なし。
生殖細胞変異原性	該当情報なし。
発がん性	該当情報なし。
生殖毒性	該当情報なし。

特定標的臓器毒性（単回暴露）	該当情報なし。
特定標的臓器毒性（反復暴露）	該当情報なし。
誤えん有害性	該当情報なし。
12. 環境影響情報	
生態毒性	短期（急性）: ECHAに提供された分類によると、この物質は水生生物に対して非常に毒性があり、長期的な影響があるとされているが、化学物質評価研究機構の有害性評価書においては水酸化亜鉛の毒性試験結果は報告されておらず、該当情報が不足している。 長期（慢性）: ECHAに提供された分類によると、この物質は水生生物に対して非常に毒性があり、長期的な影響があるとされているが、化学物質評価研究機構の有害性評価書においては水酸化亜鉛の毒性試験結果は報告されておらず、該当情報が不足している。
残留性・分解性	該当情報なし。
生体蓄積性	該当情報なし。
土壤中の移動性	該当情報なし。
オゾン層への有害性	当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。
13. 廃棄上の注意	
残余廃棄物	廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
14. 輸送上の注意	
国連番号	—
品名（国連輸送名）	—
国連分類	—
容器等級	—
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。
国内規制がある場合の規制情報	
陸上輸送	消防法の規定に従う。
海上輸送	船舶安全法の規定に従う
航空輸送	航空法の規定に従う。
応急措置指針番号	—
15. 適用法令	
化学物質管理促進法（PRTR法）	指定化学物質に該当しない。
毒物及び劇物取締法	劇物（法第2条別表第2の94 政令）〔無機亜鉛塩類〕
労働安全衛生法	名称等を表示し、又は通知すべき有害物〔施行令別表9〕に該当しない。
消防法	危険物に該当しない。
大気汚染防止法	有害大気汚染物質（亜鉛及びその化合物）
水質汚濁防止法	指定物質（亜鉛及びその化合物）
16. その他の情報	
引用文献	NITE-CHRIP（製品評価技術基盤機構HP） 職場のあんぜんサイト（厚労省HP）
その他	記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。